

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
実社会対応プログラム最終評価結果表

課題(研究領域)	共生社会実現をめざす地域社会及び専門家の内発的活動を強化するための学術的実践
研究テーマ名	病院を中心とする街づくり まちなか集積医療の提言
研究代表者	伊藤 由希子
所属機関・部局・職	東京学芸大学・教育学部・准教授
研究成果の総合評点：	<b>A</b>
研究成果に係る所見	<p>地域ごとの医療サービスを地図上に可視化することは、近隣地域との差異を認識するうえで貴重である。その意味で成果が上がっている。本研究のデータの単位が自治体であり、今後自治体間での比較データは増加することが見込まれるので、中間的な成果として貴重である。病院数の違いが直ちに各種健康指標に影響するかどうかの検証については指標数がすくないため、やや不十分で、現時点では成果の応用範囲が少ないのが残念である。今後類似の研究との接合を期待したい。</p>

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとはいえない
- C. 成果がなかった